

1. 背景・目的

- 三浦市では、「三崎中学校跡地等城山地区」「県立三崎高等学校跡地」「二町谷地区」の3つのエリアを対象に利活用の検討を進めており、平成30年度は「二町谷地区」を、令和元年度には「三崎中学校跡地等城山地区」を対象に利活用に向けた検討を進めてきた。
- 検討背景としては、学校施設の跡地の利活用を推進することにより地域産業の活性化、交流人口、地域消費の底上げ等の波及効果を見出すためである。



2. 事業概要

- 新型コロナウイルスの影響を把握するため、昨年度実施から追加サウンディングを実施、加えて二町谷地区の整備事業着手を契機とした三崎漁港エリアのグランドデザイン(エリアの特徴等の整理、将来のイメージ、イメージを実現するための実施事項の取りまとめ)の策定に向けた検討に着手した。

3. 地域プラットフォームの取組概要

- 令和2年度におけるプラットフォームは、令和2年7月と令和3年2月の計2回開催し、下記事項について参画する主体と情報共有・協議を行った。

時期	名称	内容
令和2年7月	第5回プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 花暮岸壁等を活用したイベントについて ✓ 三崎高等学校跡地地区における今年度の取組イメージ(造成工事スケジュールや庁舎移転における概要を民間主体と共有) ✓ 今後のスケジュールについて
令和3年2月	第6回プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 三崎漁港グランドデザイン策定に関連するイメージ図の作成について(二町谷地区と三崎中学校跡地等城山地区の界限性の醸成に向けた策定コンセプトの共有) ✓ 三崎中学校跡地等城山地区事業用地の事業者募集に向けた進捗状況の報告について

4. 取組成果

- 三崎中学校跡地等城山地区における追加サウンディング調査を実施
 - ✓ 本年度実施した追加サウンディングでは、宿泊施設や商業施設は新型コロナウイルスによって新規整備を行うのはリスクが高いという回答を受領する一方で、三浦市の基幹産業を将来的に拡張していくための必要性についても認識することができた。また、一体活用は難しく、それぞれの地区によって活用方法を区分することが現実的であるという回答も受領した。
 - ✓ これらサウンディング結果を踏まえて、次年度の事業募集に向けた要件を取りまとめることができた。
- 三崎漁港エリアにおけるグランドデザイン策定に向けた検討に着手
 - ✓ グランドデザインの策定にあたり、多様な視点から意見聴取をする目的から構成員を多くする必要があるが、各主体から幅広い意見を受領して検討に反映させるためには、共通言語・共通認識を図りながら意見収集と合意形成を図ることが重要であることをプラットフォームの場で参加者と共有した。
 - ✓ ついては、具体的な意見を仰ぐために、三浦市としてデザインイメージを作成を進め、今後プラットフォームを活用しながら多様な意見交換を行える素地を令和3年度内に整える。

5. 今後の活動計画

- 次年度においては、三崎高等学校跡地地区(B地区)の造成工事を実施、そしてサウンディング結果を踏まえた事業募集に向けた作業を進める。
- 二町谷地区の事業進捗および三崎中学校跡地等城山地区の利活用進捗状況について、地域プラットフォームを活用して多様な関係者と共有することで、プラットフォームの自走化に向けた道筋を立てる。

対象地区	2021年度 (R3年度)		2022年度 (R4年度)		2023年度 (R5年度)		2024年度 (R6年度)	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
二町谷地区	整備事業							
三崎高等学校跡地：B地区 (市庁舎移転先)	造成工事(約1.5年) 地区計画の修正 実施方針 事業者公募の準備 新市庁舎設計作成・建築工事							
三崎中学校跡地等城山地区	サウンディング調査による事業案件の精査 ↓ 年度途中で事業公募予定				庁舎移転準備 (R8年度頃の移転完了を目指す)			
三浦漁港エリアグランドデザイン	グランドデザイン実施							